

## 引佐町

### 地形概況

都田川・神宮寺川・井伊谷川流域の引佐山地が広く、おもな低地は南部の低湿な谷底低地と局地的な段丘に限られる。地質構造に支配された山系と水系の方向性に特色があり、渋川・伊平・奥山などは山間盆地となる。田沢や狩宿は地すべり地である。

### 地質概況

黒色片岩や頁岩からなる秩父帯、輝緑岩などからなる御荷鉾岩類、緑色片岩や黒色片岩からなる三波川帯など、2億年以上も昔の古い岩石が分布する。石灰岩や蛇紋岩がはさまれ、地すべり地や鍾乳洞が発達する。地層は東西に帯状に配列する。

### 気象概況

年平均気温は推定 15.5°Cと県内でも高く、冬は暖かく真冬日はほとんどない。日照時間は県内でも比較的長く、冬の晴天日が続き安定する。年平均降水量は 2,291mm(儀光)と県平均に近く、4月から8月にかけて雨が多く降る。

### 災害事例 地震

- 1944年12月7日(昭和19年) 東南海地震 M=7.9  
県中・西部に被害があった。当地では金指で267戸のうち全壊3戸、半壊1戸の被害が出ている。震度は引佐で5~6であった。
- 1854年12月23日(安政元年) 安政東海地震 M=8.4  
全県下で被害を受けた。当地の震度は金指で5であった。

### 災害事例 台風

- 1971年8月30日(昭和46年) 台風23号  
全県下に風水害があった。引佐の日雨量は327mmに達した。
- 1705年8月17日(宝永2年)  
前日夜より当日5ツ過迄暴風雨があり、洪水となった。諸所で家が流れ、岡崎の橋も落ちた。夏の作物は半分ほどしか収量がなかった。
- 1693年9月4日(元禄6年)  
暴風雨で全壊・半壊の家170戸を生じた。